

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	建築ストック法制度研究小委員会		主 査 名：杉山義孝 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築法制委員会		委員長名：松本光平
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>現在及び将来、我が国においては、膨大に蓄積された建築ストックの合理的利用が重要な課題となるであろうことから、「ストック時代における建築規制のあり方」を探求する。</p> <p>初年度：既存建築ストックに対する現行の法制度とその時代背景の把握、 2 年度：ストック時代にふさわしい法制度に向けての課題の設定 3 年度：上記課題に応える法制度のあり方に関する提言案の作成 4 年度：上記提言案に関する会員等意見聴取を経て出版を計画</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：2005 年 4 月に公募し、河野秀二郎委員就任(業務都合で 2007 年 10 月離任承認)、黒木正郎委員が就任(2007 年 10 月承認)</p> <p>杉山義孝(建築防災協会)、松本光平(明海大学)、柳沢厚(C-まち計画室)、平野吉信(広島大学)、五條渉(国土技術政策総合研究所)、飯田直彦(国土技術政策総合研究所)、竹市尚広(竹中工務店)、春原匡利(東京建築検査機構)、諏訪彰(三菱地所設計)、兵藤幸治(BEEGL 研究所)、林 広明(大成建設)、高橋栄人(宇都宮共和大学)、赤碕弘平(大阪市立大学)、黒木正郎(日本設計)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2008 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1.(名称)研究協議会 建築ストック社会における建築法制度を考える 参加者数 81 名 (資料名)建築ストック社会における建築法制度を考える
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>今年度の目標である、ストック時代にふさわしい法制度に向けての課題の設定に関しては、既存不適格建築物に対する制度の現状を収集整理し、これら諸制度について、ストック時代にふさわしいものとするため、次の課題を、明らかにした。</p> <p>1 .既存不適格制度に関する課題としては、増改築等での遡及適用という原則が、設計及び行政の実務上、難しい面がみられることから、増改築前後の性能評価手法の開発や性能引き上げを恒常的に促す仕組みの整備拡充が必要であること。</p> <p>2 .既存不適格建築物の水準向上基準は、現行の考え方ではストック時代の建築ストックの有効利用という観点からは困難が生じる可能性があり、要求水準を変えないまでも達成方法の多様化や別の価値観の導入による要求性能の引き下げなど柔軟な対応が求められること。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>ほぼ毎月開催の小委員会では、委員あるいは外部から招いた者からの経験に根ざして提供された話題について活発な質問や意見交換がなされ、そこで得られた情報や見解は、大会において発表した。</p> <p>大会において発表した成果をもとに出版企画をまとめ、建築学会編のもと、編集企画、執筆を行い明年夏出版の予定である。</p>